

こんな目かあ

奈良県



むかし、ひとりの炭焼きが、山小屋に泊まって働いていました。

ある晩おそく、お嫁さんが炭焼きを迎えにきました。お嫁さんは、

「おばあさんが病気になったので、すぐ帰ってください」といいました。

炭焼きはあわてて、お嫁さんといっしょに帰っていきました。帰るとちゅうの道で、炭焼きがお嫁さんに、

「おい、おまえ、知っているか。このあたりに化けものが出るって聞いたことがあるぞ。

そいつ、声をかけたらふり返って、大きい目をむくんだそうぞ」といいました。

さきを歩いていたお嫁さんは、それを聞いて、炭焼きをふり返って、

「こんな目かあ」といって、大きい目をむきました。

炭焼きは、へたへたと、座りこんでしまいました。

おしまい

村上郁 再話

資料 『奈良県吉野郡昔話集』 国学院大学説話研究会